

指導教員名	長坂泰之
-------	------

活動区分	地域活性化型	連携先	神戸元町商店街連合会
	商業活性化型		

～ 神戸元町商店街連合会未来会議「元町魅力アップ事業(仮称)」に係る産学連携の取り組み ～

活動の様子



目的は元町商店街の「良さ」を外部に発信。今回は、子供用の木製玩具のお店を紹介することになりました。

子供用の木製玩具の店内には、様々な玩具が展示されていました。まずは店内の「木」の温かみぬくもりを感じることからスタート。

実際に玩具を触って、木の肌触りも確かめます。

企画・活動概要

未来会議は、神戸の学生が元町の商店街活動に溶け込んで活動しているようなイメージを目指したいと考えています。そのうえで学生に期待したいことは以下のとおりです。

- 学生が元町商店街という場を使って何をしたいか、どうやって盛り上げたいかを、自らが考えて自らが実践して欲しい。
- 学生目線(若者目線)で積極的に実践して欲しい。
- マップ作りやムービー作り、その他のことも含めてやってみたいことや得意なことに取り組んで欲しい。
- 自分たちでコンテンツを作ることもできるし、未来会議のメンバーのアイデアを手伝うこともできる。



インタビュー及びその撮影前の打ち合わせ風景。左が店長さん。右が学生。すでに撮影ははじまっています(奥)。

経緯・背景・目的

未来会議は、アフターコロナに向けて、これまで元町商店街でできていなかった取り組み、アフターコロナで求められる取り組みを実現することを目的に、元町商店街の若手を中心となって2021年度に立ち上がった組織です。2021年度に未来会議として何を実施するのかを検討した結果、元町商店街の様々な「良さ」を外部に発信できればと言うことになりました。未来会議は、主に商店街の若手の事業者が中心となっているものの30代前半から後半よりも上の年代であり、もっと若い層にも未来会議に参画して欲しいと考えており、昨年度から長坂ゼミのゼミ生(現3年生)がオブザーバー参加しています。



未来会議のメンバーで、学生とのコラボにも興味を持っていた店長さんが、快く撮影の了解をくださったところからこの撮影がはじまりました。

取り組む課題

未来会議は、主に商店街の若手の事業者が中心となっているものの30代前半から後半よりも上の年代であり、もっと若い層にも未来会議に参画して欲しいと考えています。学生参画の一つのイメージが、未来会議のメンバーが、以前、長崎市に視察に訪問した際の姿です。長崎市では、まちづくりの活動の現場に地元の学生もメンバーの一員として参画していたとこのことで、未来会議もこのように神戸の学生が元町の商店街活動に溶け込んでいるようなイメージを目指したいと考えています。



商店街の課題は「もっと若い層にも未来会議に参画して欲しい」でした。そこから学生とのコラボが実現しました。

本学(学生)の役割

前述のとおり、未来会議が学生に期待したいことは以下のとおりです。

- 学生が元町商店街という場を使って何をしたいか、どうやって盛り上げたいかを、自らが考えて自らが実践して欲しい。
- 学生目線(若者目線)で積極的に実践して欲しい。
- マップ作りやムービー作り、その他のことも含めてやってみたいことや得意なことに取り組んで欲しい。
- 自分たちでコンテンツを作ることもできるし、未来会議のメンバーのアイデアを手伝うこともできる。

長坂ゼミとしては、単年度で完結する活動ではないと認識しており、継続的に共創する活動の最初の年と位置づけて活動したいと考えています。



学生の役割は、如何にしてお店の魅力を「見える化」するか。撮影した動画を店長さんと一緒に確認します。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

未来会議のワークショップ「元町商店街エリアの良さは何か?元町商店街エリアの良さをどう発信するか」にゼミ生3人が参画して、学生目線(若者目線)で積極的にアイデアを発言しました。そこで、まずは1店舗、その良さを学生目線で表現してみようということになり、ヒアリング及び取材を続けました。その過程で、学生たちは、無から有を作る難しさ、コミュニケーションから情報を得る重要性、積極性を身に付けました。ただし、残念ながら、2022年度途中に、未来会議は元町商店街設立150周年事業の会議体設置により発展的に解消することになり、その活動が中止となってしまいました。



学生はこの取り組みから、コミュニケーションから情報を得る重要性、積極性を身に付けました。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



商学部
マーケティング学科
准教授
長坂泰之(ナガサカ ヤスユキ)

<専門・担当科目等>
流通政策、中小企業経営、震災復興

<関係者・企業等>

神戸元町商店街連合会
事務局長
中多英二(ナカタ エイジ)

チャレンジの長坂泰之ゼミナールです。「商業まちづくり」に興味がある学生大歓迎!大きく変化する時代のど真ん中にみんなは生きています。そして、みんなにはこれからたくさんビッグウェーブが訪れます。ゼミ活動で様々なチャレンジをして自分を磨いて、ビッグウェーブの波に乗れる人材になって欲しいと思っています。

神戸の最大クラスの商店街で活動をする機会をいただいています。300店舗の組合員の皆さん、そして元町商店街の活性化の一助になればと思っています。その窓口である中多事務局長には日頃から様々なアドバイスをいただいています。